



越谷南ロータリークラブ会報

会長 小林 光蔵 幹事 中島 頼光 会長エレクト 染谷 宗一
R I 会長テーマ 「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」
クラブ会長テーマ 「ロータリーは常にあなたをみがく」

平成26年5月8日 第1956回例会

点鐘
国歌・ロータリーソング斉唱「手に手つないで」

会長挨拶



小林光蔵会長

明日5月2日は八十八夜です。八十八夜は春から夏に季節が移り変わる目安となる日です。立春から数えて、ちょうど八十八日目にあたります。八十八夜の別れ霜という言葉

があるように、霜の無くなる安定した気候が訪れ、農作業に適した時期とされています。唱歌「茶摘み」の中では夏も近づく八十八夜と歌われています。この時期はちょうど茶摘みが盛んになり、特に八十八夜の日摘んだ新茶は栄養価が高いとされ、古くから不老長寿の縁起物として珍重されてきました。近年、食生活の変化に伴い、若い人達のお茶離れが指摘されています。その一方で緑茶を使った嗜好品など様々な商品が誕生しています。

緑茶にはカテキン・ビタミン・テアニンなどが含まれ、虫歯予防・整腸作用・疲労回復さらには抗がん作用や美肌効果・老化防止といった多くの効用があるとも言われています。休憩時のひと時、季節の変化を感じつつ、美味しいお茶をいただきましょう。

以上会長挨拶です。

幹事報告

- 1 越谷・北・東クラブより5月6月のプログラムが届いております。
- 2 地区より次年度青少年部門より『フレッシュ高校生感動プログラム』へのご協力の案内が来ております。

次年度幹事荒井さんの方へご連絡下さい。



中島頼光幹事

- 3 5月11日は北越谷のギャザーホールに40周年記念事業になります。時間をお間違えないように。
- 4 来週15日は例会変更です。休みとなります。
- 5 22日は東クラブとの合同例会で夜間になります。昼間は東クラブとゴルフを行います。
- 6 クラブ細則の変更がありました。(内容は理事議事録内に保管してあります)

委員会報告

- ・次年度地域広報雑誌委員会 石川委員長
例会終了後、委員会を開くので委員の皆様よろしくお願ひします。
- ・40周年記念事業出席委員会 清村委員長
例会終了後、委員会を開くので委員の皆様よろしくお願ひします。

3分間スピーチ

岩淵秀一会員

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催中のロータリー国際大会にて、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります(年間3,500万ドルまで)。これにより、5億ドル(500億円)以上の資金確保も可能となります。



世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI) この計画では55億ドルの資金が必要とされ、サミットを通じて40億ドルの寄付が最終局面を迎えている現在、2013年4月の世界ワクチンサミットにて、2018年までにポリオ撲滅を目指し立ち上げられましたが、まだ15億ドルが不足しております。予防接種活動の減速が懸念されています。今回のパートナーシップ拡大は、この懸念が実際の脅威となることを防ぐために決定されました。ゲイツ財団のCEOである、シェフ・レイクスさんはGPEIの主要パートナー団体とゲイツ財団に加え、ロータリーのネットワークがあれば、ポリオを撲滅出来るだけでなく、公衆衛生の取り組み全体を変革することが出来ると話しました。ロータリーとゲイツ財団は、ポリオ撲滅のために2007年から協力しています。以前には、ゲイツ財団が

らの3億5,500万ドルの寄付に対して、ロータリーが2億ドルを上乗せすることを目的とし募金活動が実施され、その結果ロータリアンの尽力によって、2億2,870万ドルを上乗せして寄付することができました。今後、資金調達をさらに強化していくためには、より多くの人にポリオ撲滅活動について知ってもらい、各国政府のリーダーに働きかけていく必要があります。

本会議は、世界保健機構のポリオ担当副責任者であるブルース・アイルワードさんによる講演も行われました。撲滅計画の最新情報を説明したアイルワードさんは、ポリオ撲滅というゴールが目の前に迫っていることを指摘しつつ、そこにたどり着くには細心の注意と努力が必要になることを強調しました。「今私達には、撲滅運動を完遂する計画と、その計画を成し遂げるロータリアンという力強いバックアップがあります」ロータリーのポリオ撲滅大使であるアーチパンジャビさんは、2年間のインド生活で、ポリオによって足が麻痺した人が地面を這う姿を見たときの体験談を紹介し、その時の光景が何年間も自身の心に深い影を落としていたと話しました。その後、2011年にロータリーのポリオ撲滅キャンペーンに参加したパンジャビさんは、ポリオの犠牲者が子供達であること、そしてポリオ撲滅活動を通じて子供達を助けられることを知りました。「私のような、そして皆さんのような人々が声となって、ポリオ撲滅活動を支える事が大切です。ロータリーの撲滅活動を率いるジョン・ジャームロータリー元副会長は一般の人々に支援を呼びかける必要性をロータリアンに訴え、ポリオ撲滅活動の為に100万ドル(1億円)をロータリーに寄付することを約束したナイジェリアのロータリアン、エメカ・オフォール氏を紹介しました。貧しい家庭で育ったオフォール氏はビジネスマンとして成功した時に、貧しかった頃の記憶に後押しされて、支援者としての道を歩み始めました。自分が経験したような苦しみから人々を救うことが出来て幸せだと話すオフォールさんは、さらに多くの人に支援してもらおう事への希望を述べました。ロータリー財団ウィルフリッド・ウィルキンソン管理委員長は財団の達成事項について発表し、これはどの成果が可能となったのかは1960年代に財団補助金を、奉仕活動に使用するという決定があったからだと述べました。また、李東建ロータリー財団管理委員長エレクトはポリオ撲滅を第一とする2013-14年度の財団目標を発表しました。「困難を経て幸福がある」という韓国の諺を紹介した、李管理委員長エレクトは、ポリオ撲滅が容易ではない目標であると認めつつも、全力で取り組む価値のあることだと述べました。

行事 2014～2015年度地区研修協議会報告

・管理運営部会 岩淵委員長

クラブ内奉仕事業の紹介でサッカー大会とグランドゴルフ大会を発表しました。次年度は勉強会を開催します。

・広報部会 石川委員長

アドトレラという走る広告塔を地区のホームページで見てください。会員の皆様の職業の紹介を地区のホームページに登録して下さい。



・会員増強維持部会 石田委員長
入会の間口を広げる方向で動いています。

・職業奉仕部会 野呂田委員長
「ロータリー物語」のDVDをクラブで観てロータリーに対する理解を深めて下さい。



・社会奉仕部会
水町副委員長
「社会奉仕月間」が無いのは、社会奉仕は日々実践するものだからです。



・青少年奉仕部会 本田委員長
青少年交換留学生を積極的に出して行きたいと思えます。インターアクトの高校との関係を強くしていきたいと思えます。



・ロータリー財団部会
斎藤委員長
主役は会員の皆様です。よろしくお願ひ致します。



・米山記念奨学部会 神谷財団部門委員長
会員皆様の寄付のご協力をお願い致します。

スマイル報告

本日は挨拶に来ました・・・越谷北RC 小河内様
40周年式典よろしくお願ひします。頑張りましょう。・・・
小林会長、田中、石田、岩淵、神谷、赤松、中村、清村、瀬尾、遠山、水町、野呂田、本田、石川、仁多見、中野、中島
40周年記念式典のパンフレット無くさないように努力します。・・・小山
地区研修セミナーお疲れ様でした。・・・
・・・木佐、荒井、石野、糸賀、深井、吉田、染谷、石塚
5/2-4 越谷RCの山田さんや入会予定者の田中さん達とバイクツーリングで富山、石川県に行ってきました。・・・浅水
病気療養中の池田節子様より「皆様の御心遣いありがとうございます」とのお見舞い御礼の言葉を承って参りました。・・・加藤
3分間スピーチありがとうございます。・・・奥野、佐藤、黄
お久しぶりです。よろしくお願ひします。・・・白井
40周年欠席します。大変申し訳ございません。・・・佐藤
前回欠席すみません。本日早退します。・・・池田

出席報告

例 会 日	平成26年5月8日		
会 員 数	51名	出席	39名
出席免除者	6名	欠席	11名
出 席 率	78%	前々回MU	
MU 修正率		会報担当：荒井	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区
台中南区扶輪社（中華民国台中市）

☆例 会 日 毎週木曜日（PM0：30～1：30）

☆例会場・事務局 〒343-0842
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階
TEL 048-987-5761
FAX 048-987-5762
E-mail info@koshigayasouth-rc.jp